

成城大学文芸学部 主催

オーストリア 民俗学の 現在

2026

9/4 **金**

16:00 ~ 18:00

会場: 成城大学 3 号館 1 階 311 教室

ハイブリッドなつながり
―農村地域の若者における共同性の形成と政治参加―



講演① 16:25～

日常の「モノ」、
知識を生み出す「モノ」
―飲料ボトルにみる文化科学的「モノ」研究の意義―



講演② 17:00～

日常の暮らしや文化を研究する民俗学...その研究対象はSNSや飲料ボトルなど、我々の身近なものにも広がります。成城大学文芸学部ではオーストリアの民俗学（経験文化学）を牽引する二人の研究者をお招きし、ご講演いただきます。

講師：

- ◆ マリオン・ネザー＝ラター (Prof. Dr. Marion Näser-Lather)
(インスブルック大学准教授、オーストリア経験文化学・民俗学会会長)
- ◆ ビルギット・ヨーラー (Prof. Dr. Birgit Johler)
(ウィーン軍事史博物館学芸員)

司会： 及川祥平 (文芸学部文化史学科)
下田和宣 (文芸学部ヨーロッパ文化学科)

参加方法

イベントページの申込フォームより イベントページ
9/2(水)までにお申込みください。

※入場無料

※講演はドイツ語で行われます
(講演内容字幕、質疑応答通訳あり)



URL: www.seijo.ac.jp/events/cvt4qu000001ba8h.html

オーストリア民俗学の現在

オーストリアを含むドイツ語圏の民俗学（Volkskunde）は大きな文化研究の学問へと成長し、近年は「経験文化学（Empirische Kulturwissenschaft）」を名乗りつつあります。本講演ではその最新の成果をレクチャーいただきます。



講演①

ハイブリッドなつながり

ー農村地域の若者における
共同性の形成と政治参加

講師紹介

マリオン・ネザー＝ラター（Marion Näser-Lather）

インスブルック大学歴史学・経験文化学研究所 准教授。
マールブルク大学でヨーロッパ民族学を学び、2016年、
インスブルック大学着任。オーストリア経験文化学・
民俗学会会長。研究関心はジェンダー研究、抗議活動
研究、デジタル化、センシティブな問題の取り扱い、
批判的軍事研究、政治の人類学、等。

共同発表：リブ・オールセン
（インスブルック大学大学院生）

講演要旨

ソーシャルメディアは、公的なコミュニケーション、
政治的議論、そして日常生活のあり方に深く影響を与
えている。これをめぐる議論は、相反する評価に特徴
づけられている。すなわち、ソーシャルメディアは民
主化と参加の場として捉えられる一方で、分断や二極
化の場としても論じられている。
公の議論において、地方はしばしばデジタル社会の対
極的なモデルとして描かれるが、インフラが不十分な
状況下であっても、地方に住む若者たちのコミュニ
ケーションは本質的にデジタルを介して行われている。
本講演では、物理的空間とデジタル空間がどのように
織りなされてハイブリッドなソーシャル・スペースを
形成しているかを明らかにしたい。また、農村地域に
おいてソーシャルメディアが、アイデンティティ形成
の資源として、（トランス・ローカルな）共同体の形
成、そして民主的な参加や社会参加の基盤として、ど
のような役割を果たしているかを検討する。



講演②

日常の「モノ」、 知識を生み出す「モノ」

ー飲料ボトルにみる
文化科学的「モノ」研究の意義

講師紹介

ビルギット・ヨラー（Birgit Johler）

ウィーン軍事史博物館学芸員／展示部門長。ウィーン大
学でヨーロッパ民族学を学び、オーストリア民俗学博物
館、グラーツ民俗博物館での学芸員を歴任する。研究関
心は20世紀の日常生活の歴史、物質文化・歴史的衣装の
研究、記念顕彰と想起の実践、ユダヤ史とナチズム、博
物館論、等。

講演要旨

近年、ドイツ語圏において、物質文化研究は「ヨーロッ
パ民族学」／「経験的文化学」／「文化人類学」で再び
注目を集めている。このことは、大学における教育内容
の編成や、博物館におけるより複雑な所蔵品やコレク
ションの研究への関心の高まりなどにも表れている。
本講演では、文化科学的視点に立つ物質文化研究の可能
性を、ヨーロッパの多くの地域ですでに日常の必需品と
なっているあるモノ、すなわち飲料ボトルから示す。驚
くべきことに、このモノはこれまでの文化研究において
ほとんど注目を集めてこなかった。しかし、水を飲むこ
とは現代社会における中心的健康言説の一つであり、
水そのものもまた世界で最も貴重な資源の一つである。
ウィーンの軍事史博物館（HGM）を念頭におきながら、
この現代に根ざした日常生活文化の研究が、HGMのコレ
クションにある歴史資料とどのように結びつけられるか
についても考察したい。

アクセス

小田急線「成城学園前」駅
より徒歩4分

※ 校内に駐車場はございません。
公共交通機関をご利用いた
だくか、近隣のパーキングをご
利用ください。



当日のスケジュール

16 : 00
16 : 05
16 : 25
17 : 00
17 : 30
17 : 50
18 : 00

開会
オーストリア経験文化学のご紹介
講演①
講演②
コメント
会場質疑応答
閉会

